



2018年4月11日発行

けんいちだより

発行責任者：(公明党 さいたま市議会議員) さいとう健一 住所：さいたま市見沼区深作 3-22-7

2月定例会 活動報告2 (平成30年度一般会計当初予算審議)

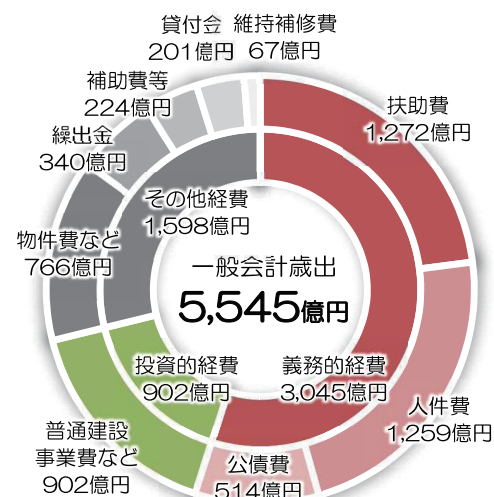
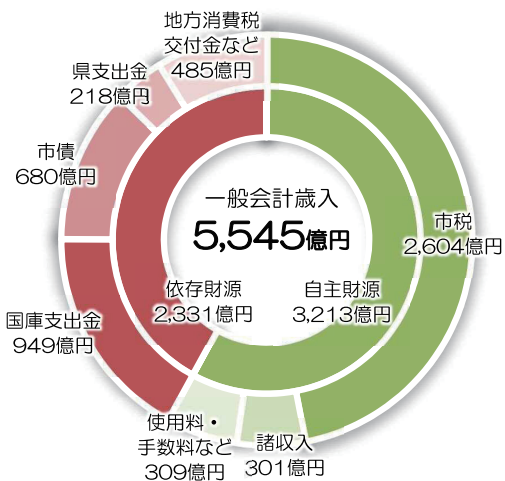


予算委員会で質疑を行う、さいとう健一

さいたま市議会2月定例会は3月16日に、過去最大の5545億円を計上した平成30年度一般会計当初予算案など計99議案を可決、同意し閉会しました。

さいとう健一は予算委員会のメンバーとして当初予算の審議を行いました。審議した結果、予算案は歳入予算では個人市民税や地方消費税交付金などの増収により、平成29年度と比較して243.5億円の増収が見込まれこれまでにない最大規模となりましたが、その特徴は、急速に進む少子高齢化、将来到来するであろう人口減少など本市を取り巻く厳しい将来の環境に配慮し、中期的視野にたつて、その対応と対策を意識した投資的な予算編成をされたものであると一定の評価をして可決に賛成しました。

議案内容と審議結果につきましては、さいたま市議会ホームページ「議会資料検索」の審議結果でご覧いただけます。ホームページアドレス→<https://www.powerfinder-asp.net/saitama/>



さいたま市の予算を家計に置き換えると？

一般会計当初予算を家計に置き換えてみましょう。

大きな金額の予算を身近に感じていただくため、平成30年度の一般会計当初予算5,545億円を、給与所得者の平均給与である422万円※(月収351,000円)の家計に置き換えてみると、下の表のようになります。

家計では、食費・生活費や医療費・保育料、借金の返済に対する支出が増えると、貯金や家の増改築に回せるお金が減ってしまいます。

市でも同様に、人件費や扶助費、公債費に対する支出が多いと、積立金や建設事業に使えるお金が減ります。

そこで、さいたま市では、健全な財政を維持するため、職員の定員管理や市全体の総合的な計画を立て、事業の選択と集中に向けた取組を実施しています。

※出典：国税庁平成28年分民間給与実態統計調査



さいたま市の家計簿(1か月当たり)

歳入		歳出	
給料・諸手当 (市税、地方交付税 など)	270,000円	食費・生活費 (人件費)	80,000円
パート収入 (使用料・手数料 など)	28,000円	医療費・保育料 (扶助費)	80,000円
預貯金の取り崩しなど (繰入金)	10,000円	借金の返済 (公債費)	33,000円
銀行からの借り入れ (市債)	43,000円	光熱水費、衣料費など (物件費など)	61,000円
		子どもへの仕送り (繰入金)	22,000円
		車の維持費 (維持補修費)	4,000円
		預貯金など (貸付金、積立金 など)	14,000円
		家の増改築費 (普通建設事業費)	57,000円
合計	351,000円	合計	351,000円

春岡地域に路線バスが開通!

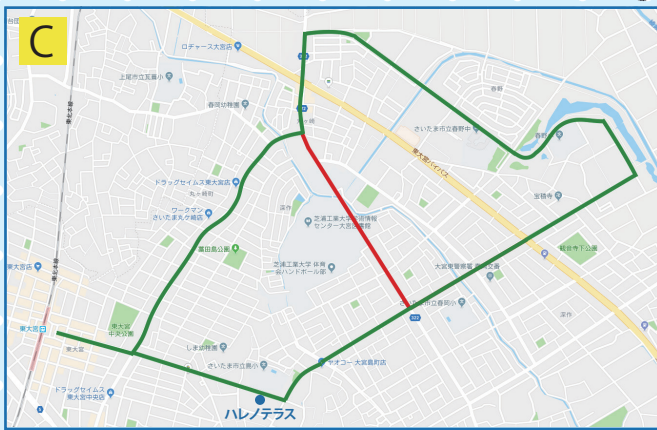
東大宮駅~アーバンみらい循環経路
が変更となり、開通となりました!



上の(A図)は、3月31日までの以前のバス路線図です。以前は国道16号バイパスを通っていましたが、この間は停留所が設置不可のため、ただ通るための路線でした。



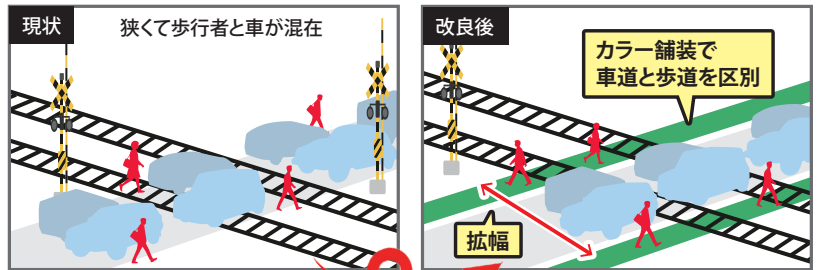
上の(B図)は、昨年3月23日に開通しました、「一般県道東門前蓮田線」を通る路線として本年4月1日よりルート変更になった路線図です。路線変更で新たに停留所が2ヶ所増え、以前から要望を頂いておりました春岡2丁目と3丁目に公共交通が通ることになりました。



地域の皆様の要望実現に向けて取り組んで参ります!

左の(C図)は、地元地域の皆様が強く要望しておりますバス路線図です。同じく昨年3月に開通しました島小学校前の道路が、東大宮駅東口から一直線で開通し、地元周辺地域の皆様はハレノテラス(ショッピングモール)経由で春岡・深作・春野へつながるバス路線を希望しています。引き続き地元の市議会議員として地域の皆様の要望実現に向けて取り組んで参ります。

歩行者の安全確保につとめます!



平成30年度さいたま市一般会計予算の「踏切改良事業」として、狭あいな野田線第29号踏切(七里駅の北側)について歩行空間を確保するため、拡幅整備を実施します。

